

令和7年度まちづくり懇談会のアンケート結果等について

1 開催状況

- (1) 開催回数 9月から11月までの計10回
- (2) 会場 9地区コミュニティセンター及び小学校体育館(泉野地区)
- (3) 参加者数 計385人

2 アンケート結果の概要

- (1) 回答者数 293人(参加者の76.1%)

(2) 回答者の状況

- ・回答者の8割以上が男性で、50歳以上でした。
- ・今年度の女性の回答者は14.3%で、昨年の14.7%からほぼ横ばいでした。
- ・40歳代以下の回答者は17.7%で、昨年の24%から6.3ポイント増加しました。
- ・回答者の9割以上が区・自治会に加入されていました。

(3) 回答の傾向と考察

- ・Q6「お住まいの地域で課題だと思うこと」については、半数以上の地区において、「⑧人口減少・少子高齢化」が1位に選ばれ、次いで「⑦区・自治会等の役職」が多くなっています。
- ・Q7「Q6的回答の具体例」において、区・自治会に関する内容を見ると、「⑦区・自治会等の役職」と「⑨入区・移住者の受入」が複合的な課題として捉えられており、人口減少・少子高齢化により、区・自治会の運営自体が大きな影響を受けていることを改めて確認することができました。
- ・Q8「市のまちづくりに関する市長説明の分かりやすさ」については、「①とても分かりやすかった」と「②どちらといえば分かりやすかった」で約6割、「③どちらかといえば分かりにくかった」と「④とても分かりにくかった」で約1割となり、半数以上の方に、市のまちづくりの方向性、考え方などをご理解いただけたものと捉えています。
- ・Q9「その他」の自由記載の欄については、区・自治会、産業、学校・子育て、公共交通、行財政などの分野において、多くのご意見等をいただきました。

(4) その他

- ・Q9「その他」でいただいたご意見等のうち、氏名、住所(又は)メールアドレスを記載のうえ、回答が必要であるとお申し出いただいた方に対しては、速やかに文書で回答しました。
- ・すべてのご意見等につきましては、市の担当部署へ共有し、市政運営の参考とさせていただきます。

令和7年度まちづくり懇談会のアンケート結果等について(データ)

地区別参加者数の推移

年/地区	ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩	その他	全地区	合計
R3	27	19	31	21	26	24	26	28	27	22	24	24	251
R4	37	38	28	24	40	25	26	24	32	24	10	298	
R5	38	40	28	29	43	25	52	33	48	29	5	365	
R6	40	42	23	26	51	76	59	33	41	54	445		
R7	36	48	23	30	30	60	49	22	50	37	385		
R7アンケート回答者数	28	35	17	24	23	51	28	18	38	30	1	293	*
開催日	11/4	10/2	9/24	9/30	10/14	10/6	9/22	10/15	10/20	10/21		(全10回)	

※うちインターネット回答者数は49人(16.7%)

Q1 性別

	人数	割合
男性	248	84.6%
女性	42	14.3%
その他	0	0.0%
無回答	3	1.0%
合計	293	100.0%

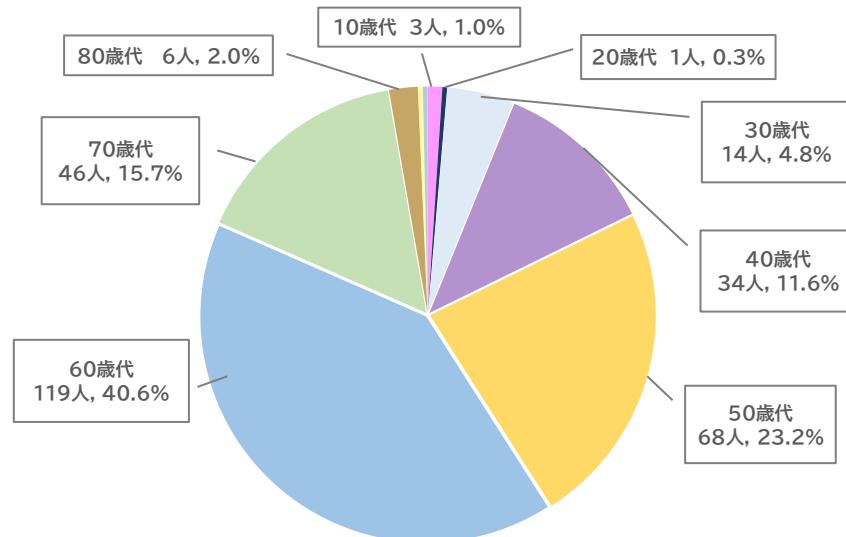
Q3 お住まいの地区

	人数	割合
ちの	28	9.6%
宮川	35	11.9%
米沢	17	5.8%
豊平	24	8.2%
玉川	23	7.8%
泉野	51	17.4%
金沢	28	9.6%
湖東	18	6.1%
北山	38	13.0%
中大塩	30	10.2%
その他	1	0.3%
無回答	0	0.0%
合計	293	100.0%

Q2 年代

	人数	割合
10歳代	3	1.0%
20歳代	1	0.3%
30歳代	14	4.8%
40歳代	34	11.6%
50歳代	68	23.2%
60歳代	119	40.6%
70歳代	46	15.7%
80歳代	6	2.0%
その他	1	0.3%
無回答	1	0.3%
合計	293	100.0%

年代別参加者数の割合



Q4 区・自治会への加入状況

	人数	割合
加入している	280	95.6%
加入していない	11	3.8%
無回答	2	0.7%
合計	293	100.0%

Q5 まちづくり懇談会への参加状況(過去5年間)

	人数	割合
① 今回が初めて	111	37.9%
② 2~4回	122	41.6%
③ 5回	56	19.1%
無回答	4	1.4%
合計	293	100.0%

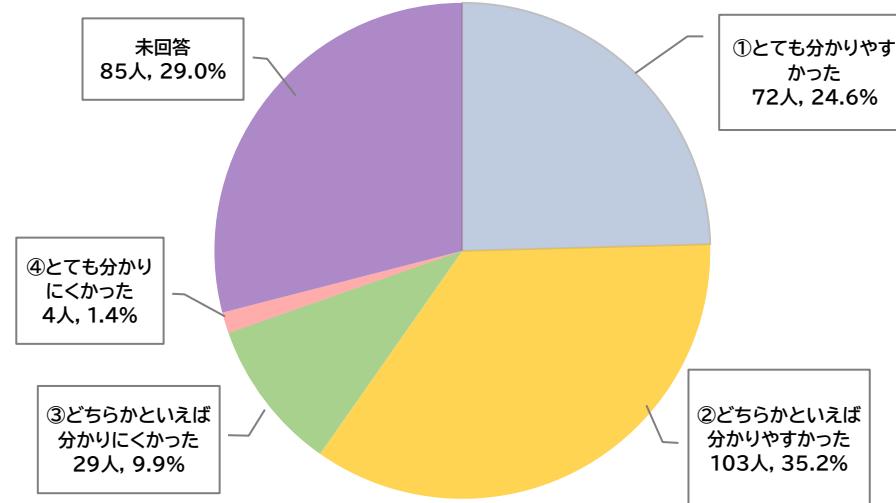
Q6 お住まいの地域で課題だと思うこと(複数選択可)。※上位3項目はセルを黄色にしています。

	ちの		宮川		米沢		豊平		玉川		泉野	
	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)
①医療・福祉	4	4.0%	3	3.0%	2	3.3%	7	9.2%	3	3.1%	9	5.0%
②子育て・教育	6	6.1%	8	7.9%	2	3.3%	4	5.3%	6	6.2%	30	16.8%
③ゴミ収集・環境	17	17.2%	10	9.9%	4	6.7%	3	3.9%	9	9.3%	6	3.4%
④空家・土地利用	10	10.1%	12	11.9%	6	10.0%	14	18.4%	8	8.2%	26	14.5%
⑤農林商工観光業	2	2.0%	1	1.0%	3	5.0%	4	5.3%	6	6.2%	8	4.5%
⑥公共交通・道路	3	3.0%	6	5.9%	6	10.0%	5	6.6%	7	7.2%	16	8.9%
⑦区・自治会等の役職	21	21.2%	14	13.9%	13	21.7%	10	13.2%	15	15.5%	17	9.5%
⑧人口減少・少子高齢化	17	17.2%	20	19.8%	10	16.7%	15	19.7%	12	12.4%	38	21.2%
⑨防災・消防	6	6.1%	12	11.9%	3	5.0%	7	9.2%	7	7.2%	11	6.1%
⑩入区・移住者の受入	9	9.1%	7	6.9%	8	13.3%	4	5.3%	14	14.4%	15	8.4%
⑪デジタル化	3	3.0%	6	5.9%	2	3.3%	1	1.3%	9	9.3%	1	0.6%
⑫その他	1	1.0%	2	2.0%	1	1.7%	2	2.6%	1	1.0%	2	1.1%
合計	99	100.0%	101	100.0%	60	100.0%	76	100.0%	97	100.0%	179	100.0%

	金沢		湖東		北山		中大塩		その他		市全体	
	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)	件数	割合(地区)
①医療・福祉	4	5.2%	2	4.0%	9	7.3%	4	4.1%	0	0%	47	4.9%
②子育て・教育	11	14.3%	6	12.0%	11	8.9%	2	2.1%	0	0%	86	9.0%
③ゴミ収集・環境	3	3.9%	3	6.0%	6	4.8%	2	2.1%	0	0%	63	6.6%
④空家・土地利用	16	20.8%	6	12.0%	14	11.3%	6	6.2%	0	0%	118	12.3%
⑤農林商工観光業	2	2.6%	0	0.0%	8	6.5%	0	0.0%	0	0%	34	3.5%
⑥公共交通・道路	4	5.2%	5	10.0%	12	9.7%	10	10.3%	0	0%	74	7.7%
⑦区・自治会等の役職	5	6.5%	6	12.0%	18	14.5%	23	23.7%	0	0%	142	14.8%
⑧人口減少・少子高齢化	16	20.8%	11	22.0%	23	18.5%	21	21.6%	0	0%	183	19.1%
⑨防災・消防	2	2.6%	3	6.0%	11	8.9%	10	10.3%	0	0%	72	7.5%
⑩入区・移住者の受入	7	9.1%	7	14.0%	8	6.5%	13	13.4%	0	0%	92	9.6%
⑪デジタル化	1	1.3%	1	2.0%	4	3.2%	5	5.2%	0	0%	33	3.4%
⑫その他	6	7.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0%	16	1.7%
合計	77	100.0%	50	100.0%	124	100.0%	97	100.0%	0	0.0%	960	100.0%

Q8 市のまちづくりに関する市長説明の分かりやすさ

	人数	割合
①とても分かりやすかった	72	24.6%
②どちらかといえば分かりやすかった	103	35.2%
③どちらかといえば分かりにくかった	29	9.9%
④とても分かりにくかった	4	1.4%
未回答	85	29.0%
合計	293	100.0%



Q7 Q6「お住まいの地域で課題だと思うこと」の回答に関する具体例

①福祉・医療

蓼科などの別荘地に、訪問介護などに来られないような福祉難民がいる。

福祉も大切だが、人口減少のスピードを考えると、いずれ行き詰まると思う。介護の仕組みに加え、介護者のケア、リトリート等を併せて仕組化していただきたい(在宅介護でメンタルが壊れそうになった)。

茅野市の病院・医院は信頼できるのか。

②子育て・教育

地域教育環境の維持

学校の再編について、子どもの意見も聞いてほしい。

部活動の地域移行による格差で、子どもの活動の場が減少、文化が衰退

小学校、中学校においてスポーツ人員が減り、合同でなければ人が揃わない。

10人以下の学級と30人学級のどちらが効果的か統計結果はあるのか。研究はしているのか。

小学校再編(建物が古くなって建て替えを考える話)については、コミュニティセンター機能を併せた形での学校改善をしてみてはどうか。学校事務とコミュニティの業務を併せることで職員不足も補えると思う。

金沢地区において小学校が再編され小学校がなくなれば、地域コミュニティーの核がなくなる。それはこの地域が急速に衰退していくことになり、消滅集落となっていくことがはっきり見える。地域コミュニティ力はなくなり、老人だけが残り、集落も歯抜け状態になる。学校再編問題は極めて重大な問題である。

金沢小学校の統廃合のあり方を検討するプロセスが問題である(財政と教育の分離)。

金沢小学校を残すことと、金沢地区が活性化する方法を地域と一緒に考えてほしい。

人口減少、高齢化が厳しい泉野地区。教育について、複式学級になることが予想されるが、従来の学級形態での問題点の改善につながらないか(クラスの何%が授業についていているか、いじめ)。

今、地域の重大な関心事は小学校の統廃合である。泉野小学校は年十年も前から諏訪郡下で一番小さな学校だったが、地域の中心として大切にされながら、環境を生かし、区民の協力により維持してきた。そこで育つ子供たちは一人ひとり自立し、自分の考えをもち行動できる姿で育ち合っている。この状況はずっと続くものと信じ又区民も覚悟を持って協力していくつもりである。50年先、100年先まで続く地域の学校であってほしい。

今の1年生が8~9人くらいで、だんだん人が減っている一方で、泉野地区の人口が増えているわけではない。どうにかしたい。

泉野小学校がなくなる可能性があるということ。

小学校の統廃合による泉野小学校の閉校による地域の消滅

今は共働き世帯が多くなり、子育ての時間も少なく、忙しい中で子育てをしている。もっと子育てしやすい環境や補助があればいいと思う。

コロナから子どもに対しての行事が少なくなってしまった。復活させたい

子育て世代への補助金(未来の宝である子どもたちを心配なく育てられるまちづくりを強く望む)

こども育成会の活動の迷走

玉川小体育館の外階段の老朽化

下ネタ禁止は当たり前になる教育をしてほしい(こういう話をすると「なんでもハラスメントでうるさいな」といわれる)。

③ゴミ収集・環境

アパート住民・地域外のルール違反ゴミ捨て

(可燃ごみの収集日に)可燃ごみ以外の不燃ごみが出される。

ゴミについて、区内で費用を工面してゴミステーションの整備をしているが、なかなか進まない。市から場所の提供や費用の負担をいただけないかと思う。

ゴミステーションの片付け、掃除など昼間に活動できない。

ゴミ出しマナーの悪さ 残留ゴミの処理

市民全体から税を徴収し、ゴミ収集等の管理を行政区、自治会等に委託するようにすべきである。

道路沿いにゴミを捨てる人が多い。

自然は豊かだけどゴミが落ちている(タバコ・カン・ビニール袋・プラスチック)。

マナーを守らない人がいるため、環境自治会で対応しきれない。

市民又は観光客のためにも、市街地、道路沿いだけでなく、一歩入った市内全域において、美しい景観、安全な地形・水系を維持すること。(現在、これらが維持されているのは)住人のおかげである。そのためには、文化的で、豊かな生活を送る「人」がその地域にいる事(が大切)。国から予算をとってきてでも、全国に広げてほしい課題である。エコーラインやそれ以外も、田畠、空き地が雑草だらけ、虫だらけ、崩れた山森など、想像しただけでも怖い。美しい茅野市、安全な森・山・市であるように。

市内でアメシロが大量発生していて、多くの人が困っている。来年の今頃も大量発生していると思うので、市や区などで至急対策をお願いしたい。

ソーラーパネルが多くなり、景観が悪くなっている。

オオハンゴンソウなどの外来生物による固有種への影響

④空家・土地利用

空き家が多いとのことだが、あまり売りに出されていない。持ち主に呼びかけできないか。

空き家対策の受け皿体制(空き家バンク)

空き家の持ち主が分からず、家のまわりの草木整理、野良猫の住家となってしまい困っている。

空き家の生垣等が道路にはみ出している箇所が区内に散見される。持ち主が分かる場合は対応をお願いするが、なかなか動いてくれない。

空き家整理への公的補助金導入

空き家が増加しており、近い将来処置等が大問題になる。地域で解体費用が出せない。

近い将来くるであろう空き家の増加。

空き家へ空き巣に入られた家が近所に複数あり、防犯、火事が心配。建物を壊す費用もなくそのままになっている。

空き家については、住んでいない管理者がいる状態。対策としては、空き家を手放すメリット、手放さないデメリットを示す、管理者がいる空き家の固定資産税を上げるなど。移住希望者は空き家を探していることが多い。

空き家が増えてきている

空き家に伴い敷地が整備されていない民家が散見されるため、野火が出た際に騒ぎになりそう。ある程度管理されていないと心配になる。

空き家が多く、壊れそう。

家主や地主が地元にいない。近隣から区へ苦情相談が来ても区費では対応できない。

別荘地の空き巣被害

荒れた山林、田畠については、現実的に地主が手に負えなくなっている。手放したとしても引き取り手がない。

若い人が家を建てたいと考えていても、いい土地がない。

⑤農林商工観光業

農作物が毎度被害にあい、個人で対策をとるには限界がある。区でも予算を組んでサル追いのための花火などを購入し、区の役員が日頃からサル追いなどの対応を取っているが、市としてもデータ収集だけでなく対応を取ってほしい。

耕作放棄地の有効活用

耕作放棄地に公的経済指導による農地維持

農地転用について、構造改革地は転用不可なのか。人口増加に対し弊害となっていないか。

世代交代未更新による蓼科ブランド力の低下

白樺湖畔にもう一本、一周回れる道路など、イベントに使って集客する物を作ってほしい。

⑥公共交通・道路(河川)

「のらざあ」であざさに乗り遅れた人多数あり。

「のらざあ」を予約するにも、帰りの予約がなかなか取りづらいと聞く。

住める地区が広いから足の確保(「のらざあ」の拡充等)

「のらざあ」ではなく、1時間か2時間に一本でも良いので定期バス運行を希望する方が多くいる。

交通システム、ライドシェアの進捗を知りたい。

車を使わないと病院に行かれない。近くに病院がないため、高齢者は自分で通院するのが難しい。

泉野地区から高校への通学が大変。基本的に親が送り迎えすることになるが、フルタイムで働いている場合、通勤・通学バスが大変役立っている。今後も継続してほしい。時々早く帰らなければいけない時は「のらざあ」を活用している。こちらも便利だが、毎日というわけにはいかないのでバスは必須である。

地域内から市役所、駅等まで容易に移動可能な公共交通手段の確立、可能であれば車輛以外でも乗り継いで動けるよう、箱根にあるような登山鉄道やケーブルカー等の交通網整備

公共交通(バス)の利便性の向上(特に北山地区から市街地への路線)

免許を返納した方や免許を持っていない方が、バスの便が悪く困っている。ロープウェイ線が観光客向けになり、買い物、通院などに不便。支援として料金を安くしていただいたが、全く使い勝手が悪い。

別荘地の公共交通網の拡大

通学路のスピード取締りを強化してもらいたい。

通学路、歩道の整備

小学校の通学路が心配。市で対策をしていただきたい。

旧国道に雨が降ると水がたまってしまう(排水が悪い)。小学生が通学時、水が飛ばされ濡れてしまうことがある。

市街地に車が集中するため、朝晩の渋滞がひどい。スムーズに通行出来るように道路の整備を進めていただきたいと思う。

道路の側溝のふたがほしい話をした際、市役所から自治会で管理するよう言われた。市道のはずなのに市で管理しないのはおかしい。自分の子どもはその側溝で12針縫うけがをした。自治会でもまともにとりあってくれなかった。死人が出ないと対応してもらえないと思った。

玉川小学校前の道路が凸凹している。

グリーンヒルズビレッジの除雪範囲削減、遊歩道の植え込み管理

本町通りの早期開通

青柳駅前、周辺の整備

上川の浚設がされないため、河川敷が広くなりツル草や雑木が生い茂り、住人の出払いの作業では対応できなくなっている。堤防や立木もツル草が覆いかぶさっていて手に負えない。治水のためにも浚設をしてもらいたい。

⑦区・自治会等の役職、⑩入区・移住者の受入(区・自治会関係)

区内の役員を決めても、名前だけで実際は体を動かせない人もいて、活動が成り立たない時がある。
高齢者が出払いに出られない。
役員の選出に苦労する。
区・自治会の役員の他、市から依頼された役職の人選もあり、対応に苦慮する
役職を担う人員が少なく、負担が偏り不公平な状況になっている。それを理由に退区される方や引っ越しをされる方がいる。
高齢の方が多くなり、出払いの人工不足である。入区しない方が多い。
区の役職が多いため、子ども達には帰ってくるなという親の事例をよく聞く。
今まで個別でやっていたことができなくなってきたため、区でやらなければならなくなっているが、人口減少、高齢化でそれも難しくなっている。
区民の減少、未入区、役員をやりたくない(入区しなければ役員をやらなくていい)等
区議会の議員をお願いした時のインターホンでのやり取り。区長「〇〇区、区長の〇〇です」、相手「要件はなんでしょうか」、区長「区議会の議員をお願いしたくて伺いました」、相手「地元生まれではないので地域の事には興味がないです」。区長が行ったのにインターホンでの回答。相手は市役所職員。どう思うか。
新築住宅がここ数年増えているが、入区を断られる。
60代の区民の脱区、新しく来られた方への地域情報の伝達
区が変わらない、移住者が入ってこない、(役員等)区の重鎮に逆らえない。行政、区、各種団体でハラスメントが発生しているのではないか。市で相談できるようなところを作つてほしい。
移住者と地元の人の地区に対する意識の差
民生児童委員のなり手不在
民生児童委員のなり手がいないなら、任期中に何かメリットがあったら良いのではないか。
民生児童委員を区長会が選出するには無理がある。市で選出してほしい。
地区役員の偏り
未入区者への対応
松本市、塩尻市等に比べて区・自治会の役職の負担が重い。
役員になる人の不足
退区、入区せず居住する人の認識
自分の歳だと、区長を3回以上やることとされている。
入区金、区費(を払いたくないのか)、役員などやりたくないのか、入区しない家がでてきていく。
区の役職のなり手不足
若い人が仕事が忙しい等の理由でなかなか入区していただけない。物価高騰により共働きしないと生活が出来ないことも理由にあると思う。また、区の役職にも同じ理由で就いていただけない方も多い。デジタル化の推進で区の業務を出来るだけ軽くしたいが、諸々の理由でなかなか進まない。入区については市の方からも積極的に案内をしていただけるとありがたい。
役員のなり手不足(入区促進が進まない、役をお願いすると退区すると言う人まで出てくる始末)
未入区の方の問題
未入区問題、区役の成り手不足にもかかわらず、これからを担う新たな人達がやろうとする事に年寄りが文句を言う事で、区運営が上手くいかなくなった。
引越しして来ても、入区していただけない。市から強く入区するよう説明をお願いしたい。
区の役職が多い。

	<p>地域コミュニティが大変。担い手不足、高齢化などで役職のなり手が不足していて、それを選ぶのに人間関係が悪くなったりしている。悲しい。</p>
	<p>区における退区問題(区役、地区の役をやりたくないで、毎年多くの世帯が区から退いていく)</p>
	<p>地区、区、行政(市)の役職が多い。役職が大変なので区民(組員)から離れていくので残った区民(組員)がどんどん少なくなつて早く役が回る。中大塩(のエリア)が広くなつていて組構成も検討が必要。</p>
	<p>朝、亡くなった家の出棺お見送り、昼過ぎ葬儀、預かり香典出しなどが大変で、勤めながらでは区の役員はなり手が出ない。明日は配布物の日なので配り物の仕分け作業をしなくてはならない。個人的にお金を払ってでも誰かにやってもらいたいと思う。</p>
	<p>区・自治会の運営については、モデル事業を市として推進しているが、この問題は10~20年前から各地区で問題としてきた。市として深く立ち入れないとしているが、各役員も一年で交代することもあり、同じ問題を何度も繰り返しているのが現状である(各地区どうしても保守的になる)。モデル化の推進を市が強く押し進めてもらいたい(もう待ったなしなので、区・自治会で進めるのは厳しいか。市で旗振りをしてほしい)。例えば、回覧板の廃止(各戸への放送、Web化)、市広報紙の全戸配布の廃止の検討や広報の方法の見直し)、区・自治会に委ねる事の簡素化と明確化、区・自治会の入区(入会)者と未入区(未入会)者の差別化など。</p>
	<p>移住者が入区しにくい雰囲気が区内にあると思う。積極的に区へ参画してくれる方もいるが、皆同じではない。入区していない事で周りの人達とのつながりがなく、距離が開く一方である。</p>
	<p>少子高齢化において人口は減少する一方で役員数は減らないので、役員の負担は増加しており、それに伴う退区者も増えており、悪循環になってると考えている。今年は配布物を担当していたが、特に広報ちの(市の広報紙)の配布にはウンザリしていた。配布物も多く負担も多いのでデジタル化を推進するなどして、少しでも負担を減らす事が大事であると考えている。</p>
	<p>区民の高齢化、少子化により区役に対する回数的負担があり、受け手に苦慮する。居住者が少くなり区費が減少する一方で、物価高となっているので、思う事全てが出来ない。御柱参加が厳しくなるかも。</p>
	<p>人口の増加が達成できれば、区の問題(区内の人員不足、区内の人口減少など)をクリアできると思う。区内の役職へのなり手不足について、区内では、報酬を増やすには限度があるので、市でも補助してもらい、区役職のなり手の確保につなげてもらいたい。</p>
	<p>人口は多い区だが、就労年齢が上がって役の受け手を見つけるのに苦労する。区役の改革等、慣習からの脱却が必要だが、誰が口火を切るのか(きっかけがない)。</p>
	<p>退区する方が増え、残った区民の負担が大きい。入区しているメリットが何もなく、毎年いろんな役が回ってくる。消防も抜けられずにずっと正団員のまま。退区した方が得する状況になっている。</p>
	<p>泉野地区が沈んでいる。以前は家寄り文化があり、地域の人々が集まり酒を飲みながら将来の話をしていた。親族関係がうすれ、(そういったことが)ほとんどなくなってきた。河原温泉の食堂が、その役割を果たしてきた。そこで地域住民が飲みながら地区の課題を出し合っていた。食堂がなくなって4~5年になる。是非再開を。</p>
	<p>(ゴミ収集・環境整備、空家・土地利用について、)市の行政を区に押し付けている事が多いと思う。市の責任においてする事はしてほしい。</p>
	<p>区費をどうやって抑えるか。</p>
	<p>色々お金がかかるが人口減少により区費が集まらない。予算と別にエアコン設置、道路修繕、安全対策(などにもお金が必要になっている)。イベントを減らして予算を充てたほうがいいのか。市から回してもらえる予算を少しでも増やしてもらえないだろうか。</p>
	<p>自分が住む区は、役職に就かなければならず、若い人が入区しにくい。既住者が、入区者に対し、責任を負わせすぎる。</p>
	<p>中大塩地区は、狭い土地の中に4つの区があるので、役職が4倍ある状態になっている。区の役員をやりたくないことを理由に退区していく区民が多いので、1区にしたほうが良いと思う。</p>

自分が住む自治会は、存続の危機で、会を立ち上げて月1回の会議を開いている。

自分が住む自治会は、現在危機的状況(存続可否問題)にあり、今後どうしていくべきかを検討している。最悪は自治会解散。市からの業務委託を受けない地区からの脱会という方向を訴える人もいる。どの地区も高齢化、住民減少の中、今までどおりの行政をいつまでやっているつもりか。市では対策を考えているのか。日赤奉仕団、社会福祉協議会、福祉推進委員会、防犯指導委員、環境自治会、保健指導員、その他にも防災、自衛消防団など、役も業務も多すぎる。行政指定の業務・役職を減らさなければやっていけない。

自区だけではなく、茅野市全体、お互いを尊重できる区になれたらと思う。

区内の墓地利用

市の抱えている問題はそのまま地域の問題である。

コミュニティセンターにおける住民サービスの低下傾向が心配

茅野市にある全国的にみても珍しい行政区、財産区などの組織について、もう少しがくばらんに話す機会を設けたほうがいいと思う。

財産区民の減少と行政区民の増加について、今は別々の扱いをしているが、今後はどのように一体化したら良いか。他の地区の対応を知りたい。

⑧人口減少・少子高齢化

高齢化で地域や家周りの草刈りが十分になされない、雪かきができない等の状況

少子化もだが、未婚者が多い

若者が住みやすい環境なのだろうかと思う所がある。若者にとって自然の豊かさや住民付き合いの濃さは魅力には感じない。実際に生活する上で必要なものが近くにあるなど、便利だと感じる地域には集まる。

若い方の働く場を設ける。

若い世代が戻って来ようと考えられる地域の作り方

若者の定住環境の整備

地域の人口増の施策

人口減少に歯止めをかけたい。

イジメがあったから郷に戻りたくない等

早起き野球、ソフトボールの参加チームが減り、地域や地区の間のコミュニケーションも不足している。

区民の高年齢化

少子高齢化により自治会維持、防災、空き家など複数の問題が顕在化している。行政も対応できていない。

交通機関の減少による人口減少(移動手段がなくなり、人が集まる店だけに集中)

全ての問題は人口減少、少子高齢化にリンクしていると思う。区・自治会等の役職について、役員のなり手がないと区長責任で区長が任命される慣例になっているが、いかかがなものか。そういうことをやっている限り入区者も増えないし役員のなり手もいなくなるのではないか。人口減少、少子高齢化は一行政ができる問題ではない。

若い世代が地区から離れて戻ってこない、帰って来たい地区づくり、中山間地の環境下でも人口が減らない取り組み

若い人が出ていったあと戻ってこない。

人口を増やすためにはどのようにしたらいいのか皆で考える機会をつくったらどうか。いずれ自分たちも買い物、通院難民になってしまふのではないか不安である。

少子高齢化による人口減少に加え、農業を始めとする各種産業の担い手不足は、茅野市だけでなく全国的な問題。

高齢化している各地域でいろんな支援をされているが、どこまでできるか難しくなっている。助けてほしいと発信してくれる方は各機関につなげられるが、困っていないと言われば手が出せない。行政からもそのような方に良い窓口をお知らせいただきたい。

⑨防災・消防

人口縮小に伴う自主防災組織の弱体化と担い手不足

市内や地区内でも、災害リスクの高い所と低い所がある。宮川地区内では、線路下が高く、線路上が低い傾向にある。その中で、助け合いができる体制づくりや不公平感が少ない活動ができるように考えていきたい。

上下水道未開通のため、消火栓がない。

防災無線に頼る情報伝達の仕組みは古いし、もう限界だと思う。各戸に購入してもらっている無線受信機は、防災情報だけでなく、区内行事や弔事などの放送も行っているが、多様な生活様式の中で、音声による伝達は合理的ではない。これからは、LINEなどのSNSや、地域コミュニティを担う自治体情報アプリの活用など、文字や画像等の提供による情報共有が合理的と考える。茅野市がDX特区に指定されていることから、各区公民館のネットワーク機器導入に対する助成金の新設や、アプリ導入のサポートなどが必要だと思う。

今後の防災無線がどうなっていくのか。

消防団の地区統合により、地区によっては団員の熱に差がありまとまりがないように思う（操法が無いこともあるのではないか）。

消防団員の確保が難しくなっている。活動に参加する人が固定化していて負担が増えている。

消防団員の不足

消防団員が減らされて、活動自体はそのままなので、残された団員の負担は増えた。

⑩デジタル化

年配者への配慮を考えてほしい。選べる方向を検討してほしい（すべてにおいてのデジタル化反対）。

市への要望書（区から出すもの）を紙ではなく、メール等で出せるようにしてほしい。

⑪その他（行財政）

余分な所で無駄遣いが多すぎるのではないか。道路工事にしても、これは本当にやる必要があるのか、と思うこともある。確かにいろいろ老朽化もしているし、直さなければならないことも分かるが、市民の生活は表向きは良いようでも大変苦しい。市民の生活を理解してほしい。

公共施設（温泉）の料金値上げはとても良いと思う。

スポーツ施設（人工芝のサッカー場など）や公共施設（プールや遊具のある施設）など、もっと市民が楽しめる施設を作っていただきたい。

市外からきた人達（子どもを含む）を市民の森や永明寺山公園に案内するが、特に永明寺山公園の傷みが激しい（例：女子トイレ、「わんぱく砦」については、木の柵が破損していて子どもが転落する危険がある）。

何かを犠牲にする必要性は理解できるが、その犠牲になっているのが子ども達になっているよう（プールの廃止、運動公園の利用料の値上げ、スケート場の廃止への動き、学校統合への動きなど）。子育て環境の良さを強みに移住・定住を促進しているのに矛盾した政策に思う。

先日、諏訪地域近隣の同好の士から「茅野市やばくない？」と言われた。もう数年で破綻してしまうかもしれない自治体で移住促進とか大丈夫？といった意味であった。昨今の新聞報道や広報で茅野市は赤字経営で貯金も近いうちに底をつけ、自治体として破綻してしまうという認識が周辺に広がっている。これは茅野市民も多かれ少なかれ同様で、何かにつけて活動は委縮し、活動ができない理由は怠惰ではなく金がないから。温泉施設もスポーツ施設も小中学校も、さらには保育園、病院も廃止は単純に致し方ないと考えている市民が一定数存在している。実は基金は取り崩していないとか黒字だったということは知られていない。危機感は必要だがあまりにあおってその部分ばかり伝えると、悲観、あきらめ、もうどうしようもない、となり、茅野市から移転（移住）したり、移住促進などやっていいのか、こんなところに人を呼んでいいのかとなっていくと思う。小学校廃止を突き付けられた地区は必死に考える人も出てくるだろうが、各場所でそれを繰り返すわけにもいかない。あり運転、危険、お断り。市民が自信を持てる財政を考えるような機会を作ってほしい。

⑫その他

市長選や市議選の際、公式LINEで各立候補者のPR動画を流す等の工夫がほしい。

市内に熊が出た時には、広報でお知らせしてほしい。

ポジティブな宣伝ができると良い。(現状は)ネガティブが多い。例えば、大沢の村道をオフロードバイクやトレイルランのコースにしたレース、グランピング、キャンプ場、学校施設を利用した長期休みのイベント、学校校庭のスケートリンクなど自然を生かせる何か。

市役所内に岡谷市役所のように苦情を受け付ける部署を作つてほしい。

地域の近代化

Q9 その他(自由記載)

①福祉・医療

高齢者や生活困窮者への負担軽減策は考えているか。

若者に選ばれるのは大事だが、年寄りが多いのも事実である。私は父が亡くなり、母も亡くなったり際に年金事務所へ行ったが、予約が取れない。また、年金事務所は岡谷市にあるため、行くのに少しひまかかる。ベルビアに年金事務所があれば茅野、原、富士見の住民も来やすいし、駅近なので非常に便利かなと感じる。

活性化するために若者の利用はいいが、「高齢者が安心して住める」のも並行して考えてほしい。

若い人を大切にしていきたいようだが、高齢者も大切にしていただきたいと思う。

市の温泉施設について、それぞれの特性を生かした(利用者、時間帯等を細かく調べて全部同じじゃなくていいと思う)温泉巡りスタンプラリーのようなものを作ってもいいのかなと思う。

コミュニティセンターで社協による出張デイサービスのようなことはできないのか。

②学校・子育て

小学校の方向性は、小学校個々に、地域と学校が一緒になって検討するほうが現実的。当面は9校を維持し、地域に専門委員会をつくり3~5年ごとに方向性を検討し、続けていくよう考えてほしい。茅野市全体の学校のあり方は、市に専門委員会を作つてじっくり検討してほしい。

学校の再編について、少人数学校を1校でも市内で残してもらえたうらうと思う。市内の子どもは誰でもその学校に希望すれば行けるという形にしてほしい。また、市内での転校も、もっとしやすくして、その分通学バスをやりくりしてほしい。

子どもの教育の場を優先させたいとの事だが、引っ越しなどのように自分一人だけ別の環境になる訳ではなく、同級生皆が同じく違う環境になる訳なので、教育に大きな影響が出るとは思えない。

本年5月に泉野小学校の存続を求める要望書を市長、教育長、こども部長、学校教育課長へ提出され受理された。その後5月末に回答書が示された。回答書の内容はあまりにも味気ない「今後市民の皆様と検討していきます」という言葉でしめくくり、行政は本当に考えてくれているのか。要望書は読まれた後、棚に上げられてほったらかしになったと思わざるを得ない。これが回答書か。こんな言葉、要望書を受け取った時に一言、言った内容と変わらない。約一か月後に出でてきた回答が待たされたあげくこんなもんか。ガッカリ。泉野フィールドスクール構想に注目してほしい。一緒に考えてほしい。

私は、北山小学校がなくなつてほしくない。理由は、人数が少ないクラスだからこそ全校の名前、学年が分かるし、沢山カラフルな遊具などがあつていいし、学童も15~20人くらいだからこそみんなで行動ができるので、なくしてほしくない。

中大塩地区の学校の統一

小学校の通学区について、中学校3校に分かれて通学している。同じ中大塩の子ども達は同じ学校通えるようになるといいと思う。この機会に考えていただきたい。

学校教育課長よりアンケート実施の話があったが、誰を対象と考えているのか。子ども対象となるのか。また、設問次第で市の都合のよいアンケートになるが、その点の配慮はあるのか。

新潟県の上越市、妙高市では、子育て中の家族に向けて、一般のベテランおばさんがあかちゃんを預かるサービスを提供している自治会があると聞いた。預ける時間にもよるが、料金は1,250円である(自己負担250円、市補助1,000円)。

子どもの居場所の補助金が今年から半減したが、どうしてか。

教育長さんの回答が、他の方々よりも地域に寄り添った答えだった。この方ならと思える人が上に立つてやってほしい。

③ゴミ収集・環境

土手草を焼くことを規制できないか。

環境自治会の負担金について、自分が住む地区は年850円を集めているが、他地区も同様なのか。また、それぞれの自治会の決算も知りたい。自分が住む地区は繰越金が多く、市ではそういうことを横断的に把握してるのが教えてほしい。あくまで自治会だから任せているということなのか。今年社協では、各地区の会長が集まる機会を設けていただき、驚くことが多々あった。

脱炭素、ゼロカーボンは世界の時流に逆らっている。

④空家・土地利用

空き家の再利用を考えた開発

⑤農林商工観光業

今後耕作放棄地が増えてくると思う。そういう農地等の転用や使い方を考えていかないといけないと思った。

別荘に住んでいる人や観光に来た人達がお金を落としてもらえるようなものが必要だと思う(例えば、耕作放棄地を使ったレンタル農地等)。

(りんごアカデミーの校長には)「誰も逆らえない」と市長が説明していたが、そんなに喜ばしく話して良いのか。心理的安全性を大切に考えてほしい(もちろん、りんごの神様がそういう人だと言っているわけではない)

ひと昔前の特産物を作るのもいいと思う(例えば、広見区の大根は首都圏でも売れると思う)。

八ヶ岳農業大学校の広大な農地について、官民一体で協力しながら、その活用方法を考え出してもらいたい。

山林管理についての質問があったが、企業の社会貢献事業による活用も有効かと思う。

「蓼科野菜」は、周辺環境への影響を鑑みて無農薬での栽培であるべきと思う。また、地元学校給食への積極的な提供を期待したい。

今年開業するが、茅野市は開業資金の制度や補助等について、分かりづらいところがまだまだ多い。もっといろんな人が参画(利用)できる取組を進めてほしいと思う。

観光を考えた時、ドライブをするにも今の中央高速の渋滞はリスクになる。ビジネス、流通でも新幹線のある地域と比較されるのではないか。世界の中で選ばれる茅野市になるにはどうしたら良いのか。世界基準で茅野市が誇れるものはなんなのか。その一つはオリンピアンであったり、世界的な建築であったり、御柱だったりするのではと考えている。

GazooレーシングのSS区間の走っているところを見られたらいいと思う。見たい人は沢山いると思う。ぜひ検討をお願いしたい。

環八ヶ岳構想への提言「八ヶ岳標高1,000mの未来タウン」

・標高1,000mラインを横串でつなぐことでできる新しいコミュニティに期待している。

・背景として、温暖化による農産物の高標高化、2拠点や移住による八ヶ岳への人口流入で八ヶ岳エリアへの注目度向上。

・横串でこの地域の資産を高い付加価値に変える取組を考えることで、八ヶ岳エリア全体のブランディングを行う。

・商業サービス施設と居住地が同居し、「自然の中で住み心地のいいまち」へ
泉野では、若者を中心に地域の資産を掘り起こし、インスタグラムで発信していく活動を行っている。

白樺湖の湖面は自由にカヌー等を使えるようにしたら若い人が来訪すると思う。

「本と読者をつなぐ」テーマパーク化を。ラノベOKで。

⑥公共交通・道路(河川)

バスがなくなり「のらざあ」に変わった。予約が必要で、なかなか取れない様子。市内を回るバスがあったり、通勤・通学バスも本数が増えたりして、皆さんがいろいろな所に気軽にに行ければいいと思う。

「のらざあ」の乗車場所について検討してほしい。先日、自宅を登録して予約して乗車したところ、ドライバーからいきなり「広い場所で集まる指定しろ」と言わされた。「大きい車だから細い道は入って来られない。遠回りしたので、次の時間に間に合わない」と言われた。

「のらざあ」を進化させてほしい。24時間、全自動運転の「のらざあ」を実装してもらいたい。

聞くところによると、「のらざあ」の運営が良くないとのこと。もっと柔軟な対応を行ってほしい。

朝の車山発の通学バスについて、昨年の2便が1便に減ってしまい、諏訪市の高校への通学時には始業時間に間に合わず、何回も遅刻している。今年は高校に通う生徒は1名のみだが、今は車山・白樺湖エリアには多くの小学生、中学生がいる。今でも問題だが、来年以降はとても大きな問題になる。早急に対応された方が良い。

定期路線バスの要望も残っているが、費用の負担の事も理解できる。そこで「茅野市版ライドシェアの運行」を考えてはいかがか。プロの運転手が少なければ一般の方に運転をしてもらう仕組みを考えることもありかなと思う。実施するまでには大きな壁があると思うが、先進的な茅野市なので、サムシングニューが生まれると思う。

老若男女の生活の中で、交通の利便性を良くしてほしい。できれば、市町村を越えた線をお願いしたい。自由と開放につながり、各産業の活性化、登校、CO2減少、交通事故減少、運転免許返納可能(認知症明確化)等々、永い将来に必要な整備だと思う。運転が不可能になったら住むことが困難なので、移住する方もいる。

交通については、18歳以下の意見を聞いたほうが良い(車を持っている大人に聴いてもどうかなと思う)。

通学路の路側帯のペイント剥がれ多数。通学路の道路は段差やうねりが多く、降雨時には水溜まりが出来て危険。冬季は凍結して事故の危険性大(豊平地区)。

小泉大橋を渡り、理科大方面に上っていく最初の交差点の付近の右車線に大きな凹みがある。他にも多数ある。

トマト自動車から小泉団地に向かう橋の手前のアパート前道路が、下水等の工事後の埋め戻しの現状復帰がいい加減で、段差があり、車のタイヤホイールが痛む可能性あり。水溜まりも出来たり、冬は凍結して危険。通学路なので早期に改修してほしい。

薄薄時にライトを点灯しない車が多く、大変危険。積極的な啓発活動と、警察、安協含め対応をお願いしたい。

鉢巻道路の件、ぜひ具現化してほしい。

グリーヒルズビレッジ内の内周道路を除雪しない県の見直し要望

上川の河川敷は、埋積土砂が増え、ニセアカシア等の樹木が繁茂している。河川敷内の土砂の除去、樹木等の処分等を国、県に働きかけていただきたい。

⑦区・自治会等の役職、⑩入区・移住者の受入(区・自治会関係)

区に入らない人や退区者は、区費を払わないでいい、役員もやらなくていい、消防費払わない、街灯電気代払わない、寄付なし、PTAの区からの補助金払わなくていい、役員もない、環境支部負担金なし、ゴミも普通に出せたら、半分は退区する。ゴミステーションは最後の区の防衛ラインである。

モデル区会議に出席しているが、担当職員の対応が良くない。市の職員をレベルアップしないと改善されない。市民が変わるのでなく、市役所が変わらないと茅野市は変わらないと思う。

「まちづくり懇談会」において、今井市長より10年後、15年後の茅野市のあり方について説明があった。私が危機感を抱いていた事を市長も考えている事に対し、深く共感した。次のとおり私の意見を6つお伝えしたいと思う。

1. 退区世帯の増加について

近年、「近い将来役員が回ってくるが、務めることができない」との理由で退区し、区内に住み続ける世帯が出てきた。退区した世帯は、区の役割から外れる一方で、インフラや防災面では恩恵を受けるため、他の区民の不公平感や不満の要因となりかねない。このまま退区世帯が増加すれば、残った世帯の負担がさらに増し、区そのものの存続が危ぶまれる。市が作成した「入区のご案内」は、転入時の未加入世帯には、一定の効果があると思うし、実際にあった。ただ、退区世帯に対しては、残念ながら効果がない。退区について、市が相談を受けた際、区への丸投げではなく、せめて区と一緒にになって対応してもらえれば、今後の加入促進の仕組みのヒントにもなるのではないか。何卒ご検討いただきたいと思う。

2. 他区へ聞いてみたい事

他区では、退区世帯に対して、どのような対応をしているのか、とても興味がある。自地区の区長会で、区費と同額の協力金を徴収している区がある事を知った。当区で導入を検討したが、区の規約を改正する必要がある事と、規約を改正しても、会計が集金に回る手間が増える事、そもそも協力金を退区世帯から徴収する事になったと伝えても集金に応じてくれる可能性がほぼないであろうとの結論に達し、導入は見送った。

3. 役員負担の偏りについて

当区は人口が少なく、また病気や高齢などを理由に役員が免除となる方も多いため、残された区民にかかる負担は極めて大きい状況である。実際に、区長を2回務めることも当たり前となっている。

この状態が続ければ「役員のなり手不足 → 退区者増加 → 残る世帯の負担増」という悪循環が加速しかねない。

4. 金銭の取り扱いによる負担増について

金銭を扱う以上、予算を立て、会計処理をし、監査を受け、総会で決算報告をするという事が行われる。しかしこれらは、事務能力や大勢の前での発表を求められるため、大きな負担となっている。例えば環境自治会役員を務めた時は、「月2回の資源物回収だけを1年やればいい」と思っていたが、毎月の支部長会議への出席、総会での議長、コミュニティ祭への出展など役割が多く、想像していた以上の負担があり、大変驚いた。つまり、「お金が動くこと」によって役員の負担をさらに増やしている現状があるということ。

5. 区費徴収方法の見直しについて

当区では、年に数回、役員が各世帯から直接区費を徴収しており、

- ・徴収に時間と労力がかかる
- ・未加入世帯からは徴収できず不公平である
- ・会計業務が煩雑化し、パソコンを使いこなす必要がある。

以上の事で、役員を敬遠する気持ちや不満が大きくなっている。

提案として、市民税に区費を上乗せし、そこから各区に配分する方式を将来の目標として、是非検討してもらいたいと思う。

具体的には、

・区費から支出している環境自治会費・防犯組合・身障者協会等への負担金、小学校整備費への助成金、消防関係費等を、市民税の一部に組み込み一括で徴収し、市が必要な分を各団体へ配分、残りを区へ交付とするという仕組みである。

これにより、

- ・未加入世帯からも公平に区費を徴収できる
- ・役員による集金や各団体への支払い業務がなくなる
- ・会計業務が現状よりは楽になる
- ・区民間の不公平感がなくなり、区や市へ対しての信頼が増す。

という利点があると思う。

6. まとめ

市長も話していたが、区は地域の安全、福祉、防災を支える重要な役割を担っており、現状の仕組みのままでは扱い手不足・負担増によりその運営が危ぶまれる。提案させていただいた仕組みは、確かに実現には多くのハードルがあると思うが、茅野市を未来へつなぐための一案として、是非ご検討いただければ幸いである。何卒よろしくお願ひ申し上げる。

今年一年区長をさせていただき、苦労したのは、民生児童委員と国勢調査員の選出である。3年・5年に一度の選出がとても難しい事になっている。聞いた話によると松本市では公募しているとのこと。やる気のある人がエリア内であればそのやり方を使い、なおかつもう少しお金を払ってもいいのではないかと思う。今まで、選出された方々の善意に頼りすぎている現状があったのではないか。善意の持ち出しだと思う事が多い。素晴らしい活動にはお金を持ってほしい。

公民館活動、社会福祉協議会、福祉推進委員会、民生児童委員会が縦割りになっているため、重複している活動が多くあると思う。市行政で整備すべき。

市のお金も厳しいのはわかるが、(市から)区の方にお願いという事で、区の仕事が増え、お金も出費が多くなっている。

消防団が実施したような区の統廃合

区費を納めている市民に市としてメリットを与える政策が必要。

泉野地区がこれだけ住民が参加した事の重要性を知ってほしい。

湖東としての強みはあるのか。男女差はかなりあると思われる。

中大塩の役職数を減らすことによって入区、脱区問題に関わると思うが、市として必要な役員数を示すことで計画的に対応できると思われる。これから的人口減少を含めて入区、脱区問題を考えたらと思う。

入区問題がクローズアップされて久しいが、入区を考えてもうときに地域の魅力をいかに伝えるかが大切だと思う。また、地域に親しんでもらうためには、地域に活気がなければならない。その地域の活気づくりに貢献しているのが玉川ではコミュニティ運営協議会に集う各種団体である。各区の情報交換により地域の活性化を図る区長会や分館長・主事連絡会、世代別には健康福祉部会と子育て部会、環境関係では環境衛生自治会を束ねる環境部会、安全安心のまちづくりとして消防団が参画している。各種団体は地域住民が「住んでいてよかった玉川」を目指し、様々なアクションを起こしている。その各種団体の運営に全面的に携わっているのがコミュニティセンターの所長さんと主事さんである。幸いにして玉川では両役職ともに地域愛に溢れる方々に歴代就任いただき、その役割を十分果たしていただいている。コミュニティセンター職員は地域に欠くことのできない人材であり、地区コミュニティセンターは地域活性化の拠点となる組織である。今後も重要な地域組織として位置付けし、人的配置も減らないようお願いしたい。

⑧人口減少・少子高齢化

市長が「若い世代に頑張ってもらいたい」と言っていたが、それが40～50代のことを指していく驚いた。これから重要になってくる世代は20～30代の、仕事をして、家庭を持って、家を構えて、子どもを生んで育っていく人達ではない。この世代に力を入れなければ、この先、高齢者の比率が上がるだけである。茅野市は税金が入ればどこの層が増えようが何でもいいのか。発言した方の中に「若者に選ばれるまち」にという言葉があった。本当にその通りだと思う。若い世代にもう少し目を向け、もっと声を集めるべきだと思う。正直、子育て世代からみて、今の茅野市に特段魅力は感じられないし、人口減少と言っている割には子どもを増やしていくとする意識を感じられない。「出生数〇〇人を目標にする」といった具体的な数字を出し、対策を立て、結果と傾向を示していく必要があると思う。茅野市で子どもを生んで育てたい、茅野市に住んでいたら他の市町村から「いいな」と言われるようなまちづくりをしてほしいなど思う。

本日、副市長からも話があったが、女性の流出は人口減少につながっていると思う。本日の市の職員(幹部)はほぼすべて男性なのは威圧感がある。市全体で、地域で、ジェンダー教育につながる講座などをやるといいと思う。よろしくお願いしたい。

交流、移住者の声を聴く。

移住者に対してどんどん補助やメリットを与える。

少子化対策として活動する事は重要だと思うが、並行して(人が)少ない中で、変化させていく事も重要だと思った。

子どもを取り巻く環境を維持するには、とにかくみんなが元気に働くことしかないので、とにかく産業の振興に力を注いで欲しい。

「待ったなし」は理解しており、25年後は1万人動ける人が減り、50年後は人口が半分になりそうな社会で、今までと同じ構造では破綻してしまう。そのためには期待に対してのアクションではなく、現実に対してのアクションもしっかりと進めてほしい。

人口を増やすには茅野市の子どもに対する金銭的補助と移住者を増やすことが必要。とにかくお金を人口増加のために使う。財源はふるさと納税などをもっと工夫して增收させる。人が増えれば自然と增收になり経済も活性化する。

⑨防災・消防

道沿いの樹木の道へのせり出し、電柱の枝、斜めになっている木が、地震や台風などがあった時に倒れたり、電線が切れて停電するではないかとの不安がある。

防災行政無線をこの先10年このシステムで運用していく予定と聞いて、以下のことを教えてほしい。

- ・戸別受信器の普及率はどれくらいか。
- ・未入区の方々への普及率はどれくらいか。
- ・転入者への受信器の貸し出し、売り渡しなどを現在の窓口ではどのように進めているのか。
- ・防災行政無線についての情報を転入者へどのように周知しているのか。
- ・このままこのシステムで進めていくことと同時進行で他のやり方を試していく予定はあるのか。あるならどんなスタイルになるのか。

当区は試験運用に慣れているのでご相談を。

防災無線について、この先10年使用すると聞いたが、現状のまま使用するのか。

災害に強い支え合いのまちづくりについて、市と住民が連携し、一体となって災害に対応しなければならない。特に茅野で想定している震度7の地震に対して発災直後から数時間の初動対応がいかに素早くできるかが被害拡大を防ぐ決め手であると考える。震度7の地震が発生した場合、自地区に公助の手が届くのが2、3日後という話も聞いている。その間、地域の住民が助け合って安否確認、初期消火、救出救護要支援者の避難などの対応をしなければならない。近隣で家屋倒壊があり、下敷きになっている住民がいる場合は、消防等が来ない以上、住民が救助等の活動を行う。負傷した場合には、消防団員と同様に公務災害補償を受けられる制度が茅野市では条例で定められているが、補償を受けるためには、条件をクリアしなければいけない。消防や市長からの要請にもとづく活動であることを証明しなければならず、住民の自主的な活動は対象にならない。公助の手が届かない以上、現場にいる住民に消防や市長から発災直後に応急措置の要請が伝達される必要がある。この要請がどのように現場に届くのかを明らかにして、あらかじめ住人に周知されなければならない。阪神・淡路大震災では、倒壊家屋の下敷きになって救出された人の8割は近隣住民による助け合いであった。共助の必要性を強調するのであれば、万が一の場合の補償も考えておくことは、行政の責任であると考える。是非ご検討いただき、住民に広報していただきたい。住民の防災意識向上にも資すると思う。

中大塩の方々も目指せる避難所がほしい。

⑪デジタル化

茅野区のデジタル化の取組、とても素晴らしい。他地区への水平展開を市主導でお願いしたい。

市長の説明で、先進事例、回覧板のデジタル化などを展開(紹介)するとおっしゃっていたが、いつ頃になりそうか。

市の取組、DX化は良いと思う。夜間救急、医師会で夜間救急をやめてしまったが、つくば市の遠隔の診療を始めているとは知らなかつた。

⑫その他(行財政)

市内の地域格差についてどう考えているか。

茅野市はどうありたいのか。茅野市の強み、弱みの分析とそこから見える課題の抽出。1年後、3年後、5年後、10年後にできる対策を具体的に示してほしい。

だいたいの構想はわかるが、今井市長は茅野市をどのような市にしたいのか、ビジョンがはっきりしていないような気がする。ビジョンを基にどうしていくかを落とし込んで計画を立てて進めてほしい。福祉も大事だが、人口減少を止めるためには子どもを大事にすることである。将来茅野市に住みたいと思う市、まちづくりをもっと真剣に考えてほしい(今の子ども達は、将来茅野市に住みたいと思っていないのが現状である)。

市は交流が大事だと言っているが、泉野はいろいろな地域で交流ができている。他の地区や市内で交流ができればすごく発展していくと思った。

小学校がなくなった後のコミュニティの場作り。

山間地を市街地と同じ基準で考えていくと難しいかなと思う。

近隣町村(富士見、原村、下諏訪)が活発に盛り上がっている。参考にしてはどうか。

6市町村でシェアされることは素晴らしいことであり、合併の話とは別に新しい試みではないか。

様々な削減や見直しが進むなかで市役所職員の削減計画があれば知りたい。市役所の人員削減について質問をさせて貰ったが、市長や副市長の返答からは「本気度」が伝わって来なかった。市民には様々なお願いをし更に公共施設の見直しも進めていくことは改革の一つの手段であることは理解できるが、市役所をスリム化することや人件費や人員の削減計画なくして、それが本気だとは到底思えなかった。「市役所はこの先10年間で〇〇億円の人件費削減に挑戦します!故に市民の皆さんにも〇〇の見直しに御理解と御協力をください」と言って貰えたら納得もできる。ただ、削減ばかりが方法ではないと思っている。例えば、500人いる職員と500人いる臨時職員の20%でも地域の業務(区や区長さんの業務)に振り分けることが出来るなら、公共施設を減らしながらでも豊かな生活の一助になるものと思う。そのためにも市役所こそ業務のDX化を進め職員の負担を20%程度軽くするために予算を使うべきではないか。

市が何かしらの活動はされているのは分かったが、成果が出ているかが明確になっていない。数値化や見える化されていると良いと思う。日々給料明細から住民税が引かれている中で、何に使われてるかも知りたい。

提案だが、スケートセンター等の運動施設は、旅館、ホテル及び飲食業者とタイアップして合宿等で使用していただける様に全国にアピールしたらどうかと思う。有名な団体や選手が来ると、活性化にもつながるのではないかとも思う。全体のバランスも大切であると思うが、何か突出した大きな特徴を持った茅野市も魅力的かなと思う。

各団体へ補助金が出されていると思うが、その見直しや考察について触れられていない。その理由は。

昨年来、財政審議会で、急激な公共施設削減や補助金カットが進められているようだが、もう少し丁寧に地域の意見を聞いて検討をしてほしい。

税収を上げるには、高齢者の就労人口アップ=高齢者の収入アップ=健康維持欲求アップ=高齢者の経済活動、地域活動のアップ=現役世代の負担減=子供の増加、独身者の減=現役世代の収入経済活動アップ=税収アップ=公共施設サービスの維持更新=流入人口のアップ=総体的な地域力のアップのように好転すると良いなと思う。

小学校跡地の有効活用。廃墟状態には決してしないように。

財政改善策(企業誘致)についての具体案はあるのか。

各施設ごとに廃屋を壊すのではなく、再利用できないか。

茅野市の手を離れたとは思うが、旧すずらんの湯の進捗状況、今夏の旧市民プールの活用状況をわかる範囲で教えてほしい。

スポーツ少年団の会議に出席したことがある。議題は、公共施設の電気の使用料に関する内容だった。年々、茅野市的人口減少による税収減と基金を減らしながらやりくりをしているという話で、やむを得ず、スポーツ少年団に属する団体からも電気の使用料を取りたいとのことだった。しかし、今日の市長の話では毎年税収が上がっている、基金も積み増ししてきたと言っていたが、その中でもスポーツ少年団から電気の使用料を取ることを考えているのか。

茅野市の温泉施設の料金が10月に400円から600円に値上げされた、50%upは強引すぎる。市民の声をよく聞いてほしい。値上げだけでなくサービスの向上を考えてほしい。原村や北杜市の温泉は午後9時30分～10時まで営業している。茅野市は午後9時までだから他に行こうとする茅野市民もいる。市民の要望を聞いたうえで値上げをしてほしい。

具体的なことをもっと言ってもらえるとよかったです。ない袖はふれないではなく、袖がないなら袖を作り出すことを考えないと余計小さくなっていくと思う。

スケートセンター廃止・存続の目安を早くつけてほしい。存続なら改修が必要だが、どのくらいの規模で行うのか。簡単な改修なら赤字はなくなる。大改修で国際大会を呼んだりイベントを行い、赤字が出ないようにするにしても、改修費用が多額になる。廃止なら跡地をどうしていくのか。ゴルフ練習場にしていくのか、それともほかのことに利用するのか、放っておくのか。

公共施設がなくなっていくことは残念なことである。なくしてはいけない施設も多くあるので、慎重に考えてほしいと思う。

信託された市長である。自信をもって判断してほしい。全市的に協議しても誰かが判断しなければならない。

⑫その他

防犯カメラ設置、通学路の警備等、安全性を高める防犯計画に基づくまちづくり

茅野市の資産的価値は、下伊那とは比較にならないくらいいいと思う。暑い夏が続く昨今、さらに潜在的な魅力は増していると思う。全国、全世界の人への積極的なアピールを期待する。そのためには障害となるような規制などは、0ベースで見直しをしてほしい。

茅野市の宣伝はどうしているのか。原村は移住したい村1位としてユーチューブで流している。広告収入とか利用できるようになってほしい。

財産区で持っている地区の収入の税金はどのようにになっているか知りたい。

まちづくりに財産区がネックになっていることは個人的に前から気になっていた。各財産区を守っていく住民の気持ちは分かるが、市全体の発展のために譲り合えるところはエゴを乗り越えて、特に観光面で協調し合って全体の発展を望みたい。

「よいちのし、あんしん安全なちのし、きれいなちのし」

茅野市全体で、出払いなど作業を協力できる仕組み作りができるかと思う。シルバー人材でなく、ヤング人材センターを設立するなど。

茅野市は唯一縄文時代の国宝2体を所持し、茅野市名誉市民第1号である宮坂英式先生以来、縄文文化は地元民の誇りであり、地域のアイデンティティである。国内の歴史古代縄文ブームの追い風も続き、テレビ局の取材や雑誌等への掲載もあり、尖石縄文考古館、茅野市の名前は大変広く知れ渡り、考古館の来場者数もコロナ禍以降増えている。茅野市の、世界に誇る、数少ない(あるいは唯一の)強みといえる縄文文化を、縄文プロジェクト実行市民会議をいったん閉じて組織を新しい形で継続させると参加者の前で約束しておきながら全くの放置。市の縄文政策は後退ばかり。茅野市の縄文政策は、追い風に揺られながら進む難破船状態。船が沈まないように乗員は必死にやっているが、船長は不在同様で知識もなく、羅針盤は途中で海に捨ててしまい拾い上げようとしている。そして全て現場任せ。市民と共に政策を考えていくというスタイルを捨て去ってしまった。シビックプライドとして縄文文化を市民と共に熟成していくことをお願いしたい。

茅野市は、諏訪地域の中ではどうか、県との関係はどうか、時間軸(過去と未来)で捉えるとどうか、といったお話ををしていただきたいと思う。さらにもう少し大きな比較もお聞きしたかった。

茅野市について、住んでいながら知らないことも多く、改めて勉強になった。この様な機会が増えたら良いと思う。市の運営はなかなか難しいとは思うが、質問に対する回答がなんとなくすっきりしない感じを受けた。方向性がしっかり定まっていないのではないかと思った。

やる気をオンさせる心理的対策は考えているのか。人は感情によって行動するので、大切なことだと思う。市長の説明にはなかった。

市長の話に金沢地区についての内容がなく残念。地政学的に金沢をどう考えているのか。次回から各地区への思いを聞きたい。

個人的には他の地区の方の意見をたくさん聞きたかったが、発言者がいなくてがっかりだった。参加してるだけでもまだいいほうなので、活発な意見が出るような場作りをお願いしたい。たとえば分野別に少しつけてファシリテーションするだけでもだいぶ意見が出ると思う。「子育てについて」とか「地区について」とか。参考にしていただければと思う。

「市として今後何をしていきたいのか」についてもう少し突っ込んで話してもらえばよかったです。

「若い人の声を聞いていかなくてはいけない」、「女性や若い人の声を聞きたい」とせっかく提示しているなら、市長や課長クラスの方々の聞く力をもっと育てたほうがいいのかなあと思う。こういう場で若い人が質問しても、その場で聞き取るのではなく、その意見に対して弁明したりその意見を否定するような返答がいつも市側から返ってくると、若い人もこういう場にどんどん足が向かなくなってしまう。

まちづくり懇談会について、若い人に発言を促してはどうか。どうしても高齢の方ばかりの発言になってしまいます。

一部、市長の考え方理解できないところがある。

大変わかりやすく、市長の話は刺さった。あらためて市の事を学んでみたいと思う。

大変参考となる話が聞けて良かった。勉強になった。市民一人ひとりの意識を変える事が重要なと思う。

集まってくれた市民の一人ひとりにコメントしていく素敵だと思った。しかし、コメントの時間が長くて、他に発言したい市民がいたとしても時間が足りなかった。

話し合うことをもう少し絞ってもいいかなと思う。

前半の市長のお話しが少し長いと思う。いろんな人の声を聞けたほうがいいと思う。

資料が分かりにくい感じがあった。

課題を提示する事は大事だが、今回の様に明るい話もあるといいと思った。市長のまちづくりへの未来への想いがわかった。

時間は気にせず数字の話までしてほしかった。年配のどうでもよい愚痴が時間の無駄に感じた。

一人の質問が長すぎるので時間のコントロールが必要。

分かりやすくて良かった。質問は前もって提出して答える。答えられない物はメールで回答すればいいと思う(毎回同じ人が質問している)。市長と語る会の方が良かった。

懇談会の内容(各地区の意見)も是非公開してほしい。

令和7年度「まちづくり懇談会」アンケート

可能な限り右のQRコードからweb回答をお願いします。



Q1 性別【いずれかを選択】 男 女 その他

アンケートweb回答用
二次元コード

Q2 年代【1つ選択】

10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代
60歳代 70歳代 80歳代 その他()歳代)

Q3 お住まいの地区

ちの 宮川 米沢 豊平 玉川 泉野 金沢 湖東 北山 中大塩
その他(市町村名をご記入ください) []

Q4 区・自治会への加入状況【いずれかを選択】

加入している 加入していない

Q5 過去5年間で、まちづくり懇談会に何回参加されましたか。

①今回が初めて ②2回から4回 ③5回以上

Q6 あなたがお住まいの地域について、課題だと思うことは何ですか。(複数選択可)

①医療・福祉 ②子育て・教育 ③ゴミ収集・環境 ④空家・土地利用
⑤農林商工観光業 ⑥公共交通・道路 ⑦区・自治会等の役職
⑧人口減少・少子化・高齢化 ⑨防災・消防 ⑩入区・移住者の受入
⑪デジタル化 ⑫その他()

Q7 Q6の回答について、具体例があればご入力ください。

裏面に続きます

Q8 市長からの市のまちづくりについての説明はどうでしたか。

- ① とても分かりやすかった
- ②どちらかいえば分かりやすかった
- ③ どちらかといえば分かりにくかった
- ④とても分かりにくかった

Q9 ご意見・ご提言【記入任意】

茅野市が進める取組、まちづくり懇談会の内容などについて、ご意見やご提言がありましたら自由にご記入ください。

※お返事が必要な方は、内容についてお問い合わせする場合がありますので、お名前・ご住所・電話番号のすべてを、正確にご記入ください。

※回答が必要な方は、こちらにチェックをお願いします → 回答が必要

住所 : _____

氏名 : _____

電話番号 : _____

(上記が未記入の場合は、回答出来かねますのでご了承ください。)

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。お帰りの際に、受付にご提出ください。